ハヤヨミ! 看護政策 No.448

都道府県看護協会長 様 本会職能委員 様

> 日本看護協会 広報部 2024年11月25日



生きるを、ともに、つくる。

マイナ保険証にかかる障害児者の実態を反映した制度設計について議論

一障害者部会•障害児支援部会一

◎公開可

11月14日に第143回障害者部会と第8回障害児支援部会が合同で開催され、公費負担医療におけるオンライン資格確認の導入などについて議論した。厚生労働省からマイナ保険証について説明後、公費負担医療と地方単独医療費助成へのオンライン資格確認等システムの対応拡大への取り組みの経過について報告があった。委員からは、マイナ保険証のみで医療費助成の受給者として確認できるようになることについて期待する意見があった。しかし、複数の委員から、受給申請においても活用できるようにして欲しいとする意見や個人情報保護やスティグマの観点から懸念があると意見が挙がった。山本副会長の代理として出席した松本常任理事は、医療DXにかかるリスクやデメリットを明らかにした上で本部会における検討を進めるよう意見を述べた。

その他、当事者や支援者の委員からは、マイナ保険証について、対象者像に応じた 周知とともに視覚障がい者の顔認証や肢体不自由児者が他者の支援を必要としない 認証など、障がい者が制度の恩恵を受けられるような制度設計を求める意見が多数あった。部会長からは、本制度の中核的議論の場である医療保険部会において、今回出 された意見を共有することが提案され、了承された。(執筆:松本常任理事)

「ハヤヨミ! 看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。